

上部消化管内視鏡検査のご案内

検査の説明

・内視鏡を口もしくは鼻から入れて、食道、胃、十二指腸内に炎症、潰瘍（粘膜にできた深い傷）、ポリープ、がんなどの病気を診断するのが目的です。



検査方法

・病変をより見やすくするために、粘膜に色素をまき観察する場合があります。
 ・良・悪性を診断するために、組織の一部を小さくつまむ場合があります（生検）。生検後に出血が続く場合は止血処置を行ないます。

【静脈麻酔希望者のみ】

腕に点滴をし、静脈麻酔（眠くなる薬）を入れてから検査を始めます。検査終了と同時に目を覚ます注射をします。ほとんどの場合はすぐに目は覚めますが、その後もぼんやりしたり、ふらつきが続く場合は観察室でお休みいただくこともできます。

注意点・合併症

てんかんやけいれんの薬を飲んでいる患者様で静脈麻酔を使用する場合、薬の相互作用の関係で目を覚ます注射を使えないことがあります。

【検査や薬剤による合併症】

- (1)内視鏡操作による喉や鼻粘膜からの出血、裂傷、ならびに穿孔（=穴が開く）
- (2)生検による出血
- (3)使用薬剤呼による呼吸抑制・アレルギー・不整脈・心停止など

検査当日までの食事・お薬について

	1週間前	検査前日	検査当日
食事 	普段通りでかまいません。	・普段通りでかまいません。 ・夜8時以降固形物を召し上がらないで下さい。	・朝から何も食べないで下さい。 ・水やお茶は検査の2時間前まで飲んで構いません。 ・ジュースやコーヒーは不可
お薬 	・血液をさらさらにするお薬など、医師から指示された薬を中止して下さい。	医師の指示に従ってください。	・ 血圧や心臓の薬などは朝6時頃飲んで下さい。 ※糖尿病の薬は飲まないでください。

★来院時のお願い★

- ・検査時刻の30分前までに2階の初診受付(0番)においでください
 - ・持ち物
 - 診療情報提供書（紹介状）
 - 保険証
 - 診察券
 - 各種医療証
 - 予約票（兼問診票）
 - 同意書
- ※問診票と同意書は予めご記入の上、お持ちください

- ・ネックレス・イヤリング・ピアス等のアクセサリ類、マニキュアはつけずにいらしてください。

【静脈麻酔を使用される方】

検査当日は車・バイク・自転車での来院を避け、終日運転をしないでください。ご高齢の方は、可能な範囲でご家族のお付き添いをお願いします。